

1 岩石採取場の区域

所在地（代表地番を記入のこと）	岩石採取場の実測面積（㎡）	
外 筆 (明細は別添使用土地目録のとおり) (区域の詳細は別添実測平面図及び実測縦横断面図のとおり)	全体区域	
	採取区域	
	保全区域	
	その他の区域	

2 採取をする岩石の種類及び数量

種類(通称名)	総量(t)	生産量(t)	廃土石量(t)
()			

3 採取の期間

年 月 日から 年 月 日まで（認可の日から 年間）
当該地域における終掘予定年月日 年 月頃

4 岩石の採取の方法及び岩石の採取のための設備その他の施設に関する事項

(1) 岩石の採掘

① 採掘方法

ア 露天掘り	(ア) グローリーホール採掘	(イ) 傾斜面採掘
	ベンチ幅 m、ベンチ高 m (ウ) ベンチカット採掘 傾斜角度、総垂直高 m 山腹型ベンチカット採掘（有・無）	
イ 坑内掘り	天盤厚さ m、採掘幅 m、採掘高さ m 採掘長さ m、垂直残柱幅 m	

掘下がり採掘（有・無）	埋め戻し（有・無）	盛土（有・無）
-------------	-----------	---------

② 採掘手段

ア 手掘り					
イ	機械の名称・型式	能力	単位	台数	小割使用
機械掘り					

③ 火薬類の使用 (有・無)

種 別	爆 薬	火 薬	電気雷管	工業雷管	導 火 線	そ の 他
年 間 使 用 予 定 量	kg	kg	個	個	m	()

(2) 岩石の破砕選別 (有・無)

ア 手選				
イ 機 械 破 砕 選 別	破砕選別の区分	機械の名称・型式	能力 (m ³ /h)	台 数

(3) 岩石の洗浄 (有・無)

機 械 の 名 称 ・ 型 式				
取 水 方 法	ア ポンプアップ	イ 導水路	ウ 循環式	エ その他 ()
取 水 箇 所	ア 河川水 () 川	イ 地下水	ウ その他 ()	
使 用 水 量	平均	m ³ /日 (うち循環使用 平均		m ³ /日)

(4) 岩石の運搬 (原石、製品及び廃土又は廃石)

① 場内・破砕プラントまで

機 械 の 名 称	積載能力 (t)	台数 (場外運搬との併用台数)

② 場外搬出 (有・無)

機 械 の 名 称	積載能力 (t)	台数 (場内運搬との併用台数)
運 搬 に 伴 う 騒 音 ・ 振 動 等 の 防 止 対 策	ア 付近住民への影響を考慮して運搬道路を選定する。 イ 早朝及び深夜を避けて運搬する。 ウ その他 ()	
運 搬 に 伴 う 道 路 等 の 汚 染 等 の 防 止 措 置	ア シートカバーを装着する。 イ 過積載の防止、さし柵車等の不正改造車の使用禁止 ウ 洗車ピットの設置 エ 散水 オ その他 ()	

5 岩石の採取に伴う災害防止のための方法及び施設に関する事項

(1) 岩石の採掘

崩壊、亀裂又は陥没の見込み（有・無）			
転落石発生のおそれ（有・無）			
土砂の流出のおそれ（有・無）			
防 止 措 置	ア 適正な表土除去	表土除去の状況・方法	
		表土法面の傾斜	度
	イ 保全区域の設定	保全区域の幅	m
		保全区域不足時の措置	
	ウ 転落石防止施設の設置	施設の場所	別添の平面図により説明する。
エ 立ち入り禁止措置の実施	措置の場所	別添の平面図により説明する。	

(2) 発破（飛石、騒音、振動災害の防止措置）

ア 危険区域の設定	イ 見張人の配置	ウ 立入禁止
エ 発破予報	オ 適正装薬	カ 飛石防止網
キ せん孔方向の適正化	ク 発破時刻の調整	
ケ その他（		）

(3) 岩石の破碎選別

① 粉じん

粉じん発生施設の有無（有・無）		施設の名称・数は別添フローチャートにより説明する。	
防 止 措 置	ア 建屋での被覆	イ 散水	ウ 防じんカバー
	オ 表層締固めのための薬液散布（薬品名	）	
	カ その他（	）	

② 騒音

騒音規制法に基づく指定地域の該当の有無（有・無）			
特定施設の有無（有・無）		特定施設の名称・数は別添フローチャートにより説明する。	
防 止 措 置	ア 建屋での被覆	イ しや音壁の設置	
	ウ 作業時間帯の調整（	時 分～	時 分）
	エ その他（	）	

③ 振動

振動規制法に基づく指定地域の該当の有無（有・無）			
特定施設の有無（有・無）		特定施設の名称・数は別添フローチャートにより説明する。	
防 止 措 置	ア 発破工法の改善	イ 特定施設の改善	
	ウ 作業時間帯の調整（	時 分～	時 分）
	エ その他（	）	

(4) 岩石の洗浄等による汚濁水の処理

- ① 水質汚濁防止法適用の有無 (有・無)
 ② 集排水路の設置

構造、規模 及び総延長	素掘溝	ヒューム管	U字溝	コンクリート溝	その他	砂留柵
					()	
位置及び能力	別添の平面図及び計算書に記載し説明する。					

③ 沈砂(澱)池の設置

処 理 施 設	沈 砂 (澱) 池				沈 砂 (澱) 槽	
	土堰堤式	基	埋込式	基	コンクリート造	槽
貯 砂 容 量	m ³		m ³		m ³	
表 面 積	m ²		m ²		m ²	
処 理 方 法	自然沈降					
	薬品	薬品名				
	沈降	使用量	(t/h)	(t/h)	(t/h)	

④ 汚濁水処理施設の設置

装 置 名 称	処 理 能 力 (t/h)

⑤ 排水水の排出口別の水量及び水質

計 画 排 出 口 数	箇 所
-------------	-----

既存排出口(平面図に記号で説明する。)	平均排水量(m ³ /日)
A	
B	
C	

⑥ 沈澱物の処理方法

処 理 方 法	処理実施場所及び流出防止措置	たい積又は投棄する場所
ア 天日乾燥 イ 人工乾燥 ウ 未乾燥 エ その他 ()		

(5) 脱水ケーキの処理

脱水ケーキ(脱水ケーキの処理土も含む。)の発生の有無 (有・無)	
安定化のための措置	ア 水洗施設()による脱水 イ 凝集剤()の使用 ウ 適量混合 (排水性の良い廃土又は廃石・石灰等の改良材) エ サンドイッチ工法 オ その他 ()
廃棄物最終処分場での処理 (有・無)	
たい積場所、たい積方法及び流出防止措置については、5(6)にて説明する。	

(6) 廃土又は廃石のたい積処理 (有・無)

① たい積場所

設置場所記号	a	b	c
当該地の状況(該当記号)	()	()	()
ア 採掘土場 オ 海岸の傍 ケ 掘り下がり採取跡地	イ 林地 カ ダムの傍 コ その他 ()	ウ 農地 キ 道路の傍	エ 河川の傍 ク 宅地等造成地

② たい積方法

設置場所記号	a	b	c
たい積の期間	一時・長期	一時・長期	一時・長期
たい積の方法(該当記号)	()	()	()
ア 水平層状たい積法 イ まき出したい積法 ウ 投下たい積法			

③ たい積の状況

設置場所記号	a	b	c
たい積面積	m ²	m ²	m ²
たい積物高さ	m	m	m
たい積物鉛直高	m	m	m
傾斜角	度	度	度
たい積物の全容量	m ³	m ³	m ³
既たい積量	m ³	m ³	m ³
今回たい積量	m ³	m ³	m ³

④ 流出防止措置

設置場所記号	a	b	c
安定計算の実施	有・無	有・無	有・無
かん止堤の高さ	m	m	m
よう壁の高さ	m	m	m
場外水排除施設	m	m	m
場内水排除施設	m	m	m
その他の措置			

⑤ 粉じん

防止措置	
------	--

⑥ 場外搬出の有無（有・無）

搬出先所在地	
--------	--

⑦ 場内埋戻し

埋戻し場所(該当記号)	α ()	β ()	γ ()
ア 掘り下がり採掘跡地 イ 凹地 ウ その他 ()			
埋戻し面積	m ²	m ²	m ²
埋め戻し深(高さ)	m	m	m
埋戻し量	m ³	m ³	m ³
完了後の地盤高さ	m	m	m
完了予定年月	年 月	年 月	年 月

(7) 採取跡(別添防災施設設計書により説明する。)

① 採取切羽

階段幅	m、	階段高さ	m、	平均傾斜	度
ア コンクリート支持工		イ 土留階段工		ウ 集排水縦溝・横溝	
エ セメント吹付け		オ 芝草吹付け		カ 植樹	

② 採取場

ア 集排水路整備	イ 芝草吹付け(植生)	ウ 植樹(林地復元)
エ 農地に復元(転用)	オ 宅地等に造成	カ 資材置き場
キ その他()		
採掘終了後に宅地等として利用する計画の有無		有・無

